

もう他人事ではない！ 子どものSNS犯罪被害 あなたの子どもは大丈夫？



1 子どものSNS犯罪被害最多！

2,082
人

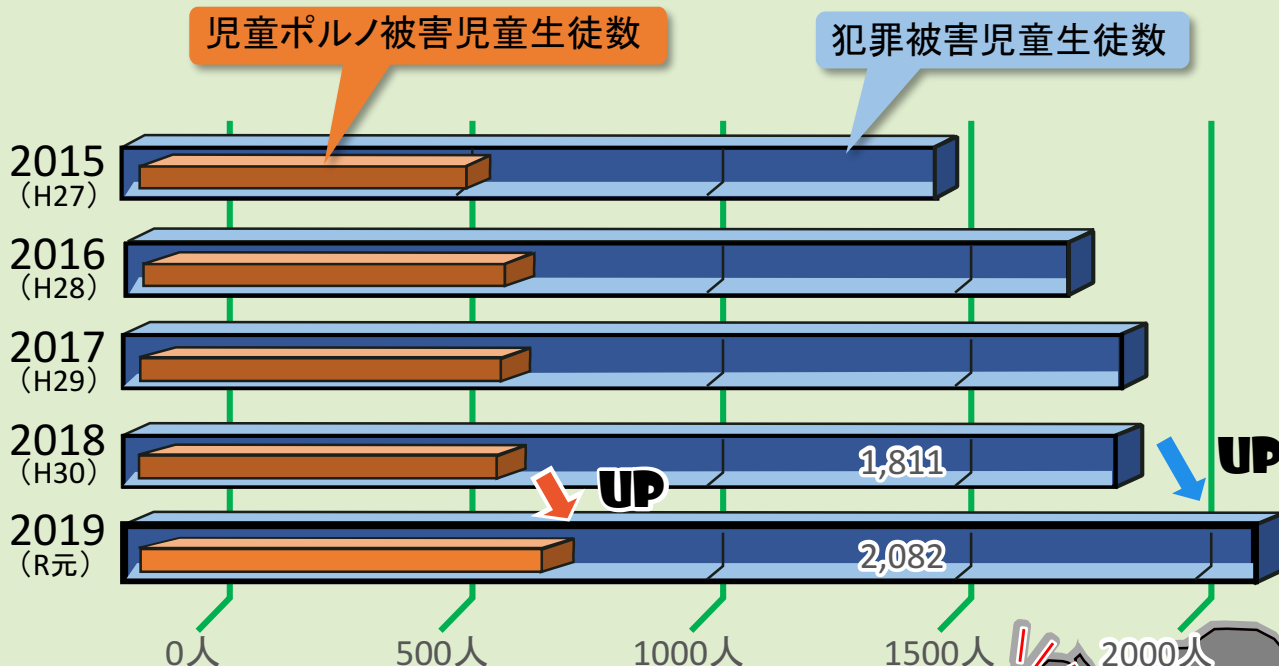
○ 2019年(令和元年)中における、出会い系以外の会員制交流サイト(SNS)をきっかけとして、性犯罪などの被害に遭った18歳未満の子どもは、全国で、2,082人(統計を取り始めた2008年以降で最多)に上った。

2013年以降
増加傾向

○ 子どものSNS犯罪被害は、2013年(平成25年)以降増加傾向である。
○ 被害者の中で、中高生が90.8%を占めている。

90.8
%

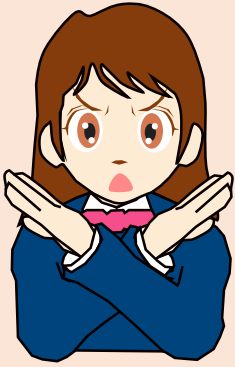
会員制交流サイト(SNS)での18歳未満の犯罪被害



○ スマートフォンの普及が子どもにも広がる中、SNSで知り合った相手に、自分の裸を撮影して送るよう強要される「自撮り被害」等の児童ポルノに係る被害が増加している。



2 このような被害や事件が実際に起きています！



- A子はSNSで知り合った高校生になりすました男に、言葉巧みに誘導され、自分の裸の画像を送信させられた。
- B子は、話を聞いてもらおうとSNSで知り合った男にメッセージを送ったところ、「会いたい」などと言葉巧みに誘われて、車で連れまわされた。
- C男は、SNSで同級生から女子生徒の裸の動画が送信されてきたので、深く考えずにその動画を他の同級生にSNSで送信してしまったことから、児童買春・児童ポルノ禁止法違反の疑いで検挙された。

- D男は、自己のわいせつな画像をスマートフォンで撮影し、SNSに投稿したことにより、わいせつ電磁的記録記録媒体陳列等の容疑で書類送検された。
- E子は、交際相手に求められて自分の裸の画像を送ったところ、交際相手によって多くの同級生や別の学校の生徒に拡散させられた。



3 以下の点をお子さんと一緒にチェックしてみましょう！

- フィルタリングを設定し、家庭のルールを作っているか
- 接続するサイトやダウンロードするアプリは保護者が確認しているか
- 個人を特定される情報を書き込んでいないか
- 知らない人とSNSやメール等のやり取りをしていないか
- 裸や下着姿の写真は撮らない、撮らせないように指導しているか
- 他人のIDやパスワードを勝手に使わないよう指導しているか
- 利用時間等を決めているか
- 困ったことがあれば、必ず保護者に相談するようにしているか

4 児童ポルノ事犯の自画撮り被害に遭わないための注意点等

自画撮り！

自分の裸をスマートフォン等で撮影してはならない

ネットにアップ！

デジタル写真は、コピーが容易であり、写真がインターネット上に流出すると、不特定多数の者に繰り返しコピーされ、すべての写真を削除することは非常に困難になる

写真は注意！

軽い気持ちで裸の写真を送ってしまうと、取り返しのつかない危険（被害）が生じてしまうおそれがある

信頼していても

面識のない者（SNSの相手等）は勿論、交際相手、友達等の信用している相手であっても、自分の裸の写真を決して送ってはならない

法律違反！

友達等に裸の写真を送るよう求めたり、友達等の裸の写真を送ったりするほか、友達等の裸の写真をスマートフォンに保存した場合には、児童買春・児童ポルノ禁止法違反の被疑者として検挙・補導されるおそれがある